

平成 26 年度第 2 回学校関係者評価委員会報告書

鳥取県立米子工業高等学校
 学校長 友 松 文 嗣

評 価 日	平成 27 年 2 月 24 日 (火)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の学校評価（最終）について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頭髪・服装について乱れているようにはみえない。また他の高校と比べても悪い印象はない。 ● 生徒の挨拶は、定着してきている。どういう指導をしているのか。 ● アンケートが評価基準になっている項目もあるが、保護者アンケートの回収率はどれぐらいか。 ● 全体的に概ね良好な評価結果であり、成果が見られた。 <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ものづくりコンテストを目指す生徒が減っていることが気になる。コンテスト経験のある生徒は、企業に入ってから応用の幅が広がる。 ● テクノボランティアやごみストッカーの製作などの地域貢献は地域から頼りにされている。是非継続してほしい。 ● 出前授業は専門的な知識に触れ合える貴重な場面となる。子ども達も興味を持って授業に臨んでいる。 <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップは、生徒が将来を考えるよい機会になっている。これを複数回実施することで、より視野が広がっていくことになるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 約 7 割の生徒が就職している。地域に出て行く人材の育成が使命であり、高い理想をもって生徒指導に取り組んでいく。 ● できるだけ教員から声をかけるようにしている。 ● 保護者アンケートの回収率は約 67%。これでもかなり上昇してきているが、HP やメール等を活用して協力を呼びかけていく。 <ul style="list-style-type: none"> ● 県全体で減少しており、本校も例外ではなく、大きな課題と捉えている。声をかけ続けることが大切であるが、体験者や専門家の話を聞く機会をとらえて参加意欲を喚起していく。 ● 時間的制限から地域の要望に充分応えきれていない部分もある。生徒の成長に繋がっている活動であるので、できる限り推進していく。 ● 事前によく協議して、双方が成果を得られるような内容を目指していく。 <ul style="list-style-type: none"> ● 企業・生徒の両方から高い評価を得ている。回数を増やすことは難しいが、事前指導等で充実した体験になるよう指導していく。 	

様式 4